The 58th Annual Meeting of Japanese Association for Experimental Animal Technologists

第58回日本実験動物技術者協会総会 2024 北九州

ランチョンセミナー1







卜作製器具 偽妊娠 マウス・ vy

EGET(A-Fy)

精管結紮オスを必要としない偽妊娠動物作出法!

よくわかる基礎から解説します

00

12:00~13:00

▲ 会場 メインホール

演者

大阪公立大学 金子武人 先生

株式会社 夏目製作所 営業部 伴野 佳祐

座長

株式会社 夏目製作所 営業部 横溝敏一

ランチョンセミナーお申込み

事前参加登録が必要です

参加登録後にメールアドレスへ QRコード付のチケットが届きます 当日は印刷してお持ちいただくか 会場にて画面をご提示ください

本ランチョンセミナーのご紹介

胚移植技術は、ゲノム編集などの遺伝子改変動物の 作製、体外受精胚や凍結胚を用いた個体作製および 動物のSPF化など実験動物分野において幅広く利用さ れている技術です。

マウスやラットの胚移植には、あらかじめ偽妊娠を 誘起した雌が必要であり、通常は精管結紮雄と交配 させることで作製されます。

しかしながら、精管結紮雄の用意や飼育スペースの 確保、動物が交配せずに必要な数の偽妊娠雌が用意 できないなどの経験をされたことがあるかと思いま す。近年、精管結紮雄を用いずに人工的な振動刺激 で偽妊娠を誘起し、移植した胚から産子が得られる 技術が開発されました(KANEKO ET AL., SCI REP 10, 2729, 2020)。弊社では、この偽妊娠誘起に用 いる器具を製品化し「EGET」としてマウス用、ラッ ト用の販売を開始しました。マウス・ラットの偽妊 **娠誘起および胚移植の基礎知識、振動刺激による偽** 妊娠誘起法の開発までの経緯、EGETの使い方や高い 産子率を得るための方法、その他動物実験関連機器 などについて紹介いたします。







